

# 地域ケア会議

鹿児島市地域包括支援センター松元

作成担当者： 長友 智奈美

## 【計画】

開催日時	令和元年10月15日 13:30~15:30	開催場所	松元支所2F中会議室
参加者	居宅介護支援事業所介護支援専門員：6人、小規模多機能型居宅介護事業所介護支援専門員：3人、西警察署交通課：1人、地域包括支援センター職員：5人 総数 15 人		
内容	テーマ	高齢者ドライバーの事故とケアマネージャーの役割について	
	目的	・松元地区での高齢者による交通事故の実状や警察への免許返納や認知機能テスト概要等の知識を深めることができる。 ・事例を通してケアマネの役割確認や自身のケアマネジメントに活かすことができる。	
	概要	①高齢者ドライバーの交通事故と免許返納について 講師：鹿児島西警察署交通課 川路様 ②ケアマネージャーとして知っておきたい認知症に関すること 地域包括支援センター松元 保健師 吉満所長 ③グループワーク ・免許返納においてよかったケース ・免許返納において困っているケース ・ケアマネとしてできることについて ④松元圏域における事業所連携についての意見交換	

## 【結果】

開催日時	令和元年8月27日 13:30~15:30	開催場所	松元支所2F中会議室
参加者	居宅介護支援事業所介護支援専門員：3人、小規模多機能型居宅介護事業所介護支援専門員：2人、西警察署交通課：1人、地域包括支援センター職員：5人 総数 11 人		
内容	松元圏域地域ケア推進会議の中で、居宅介護支援事業所から「買い物移動手段について検討していく際、免許返納時の関わり方の難しさがある」という意見が上がったことがきっかけとなる。 西警察署の協力を得て、上記地域ケア会議の企画開催した。 ①西警察署管内での高齢者事故は増加している現状。一時期は免許返納における家族からの電話相談が多かったが、テレビで免許返納の情報が取り上げられるようになり、相談件数減少。昨年1年間鹿児島西警察署管内で起きた人身事故394件。特徴は、7割が65歳以上。要因は安全不確認、前方不注意等多い。高齢者ドライバーよりも歩行中はねられて死亡するケースの方が多く実態。認知機能テストは自動車学校や交通安全センターにて実施。目的は運転をやめさせるのではなく、身体機能認知機能の低下を自覚させるため。昨年より警察署と包括での連絡制度ができていないが対象者が少ない状況。 ②認知症における基本的知識や自動車運転に必要な機能や能力について保健師より説明。運転免許返納について協力的な医療機関等があれば情報共有促す。 ③免許返納について「うまくいったケース」「困っているケース」の情報交換。医師等からのアプローチや本人に段階的に運転の時間を減らしていく、小規模多機能型居宅では一緒に家族の免許返納に付き添ったケースもあり。反対に認知症への理解力が乏しい家族へのアプローチ方法や疎遠な家族との免許返納における関わり方に困っているケース報告あり。ケアマネとしてできることについては、専門職へつなぐ支援、認知機能低下だけではなく身体機能低下についてバランスよく話をすること、免許更新時の認知機能テスト等の結果等もアセスメントの一つとなる等の意見も気づきの一つとなった。 ④松元圏域の居宅介護支援事業所や小規模多機能型居宅介護事業所でのケアマネのスキルアップの方法について、また連携の仕方について意見交換を行う。松元地区と同じような人口の他地域をモデルとして学ぶこといいのではないかという意見も確認できた。		
今後の課題等	・運転ができなくなった際の今後の移動手段について。 ・松元圏域CMのスキルアップの方法や事業所間の連携方法について。		